



の

世界史 B 問題

はじめに、これを読みなさい。

1. この問題用紙は 13 ページある。ただし、ページ番号のない白紙はページ数に含まない。
2. 解答用紙に印刷されている受験番号が正しいかどうか、受験票と照合して確認すること。
3. 監督者の指示にしたがい、解答用紙の氏名欄に氏名を記入すること。
4. 解答は、すべて解答用紙の所定欄にマークするか、または記入すること。所定欄以外のところには何も記入しないこと。
5. 問題に指定された数より多くマークしないこと。
6. 解答は、必ず鉛筆またはシャープペンシル(いずれも HB・黒)で記入すること。
7. 訂正する場合は、消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないこと。
8. 解答用紙は、絶対に汚したり折り曲げたりしないこと。
9. 解答用紙はすべて回収する。持ち帰らず、必ず提出すること。
10. 問題用紙は必ず持ち帰ること。
11. 試験時間は 60 分である。
12. マークシート記入例

良い例	悪い例
	

〔 I 〕 次の文章を読み、下記の問いに答えなさい。

朝鮮半島に成立した国々はその地理的条件により、中国や日本から政治的・軍事的圧力を受け、またそれを跳ね返す歴史を展開してきた。紀元前2世紀末には前漢が半島北部に侵攻し、(ア) など4郡を設置した。一方で4郡を通じて中国の文物が流入し、後に国家を形成する土着民にさまざまな影響を与えた。

中国に隋と唐という統一王朝が成立したことは、半島情勢に大きな変化をもたら^(b)らし、半島北部から中国東北地方にかけて渤海が成立する契機にもなった。唐が滅亡すると東アジア各地でも政権の交替がみられ、半島では新羅に替わって高麗が成立し、都を(イ)に定めた。

高麗は文治主義による統治体制を整備して独自の社会・文化を発展させた。対^(d)外面では10世紀末から11世紀前半にかけて遼の侵略を受け、都が灰燼に帰するという被害を被った。さらにモンゴル族の勃興^(e)という東アジアの変動に巻き込まれ、13世紀になるとその侵略を受けて降服した。元末には、中国本土で白蓮教徒を中心とした反乱^(f)が起こり、反乱軍の一部が鴨緑江を越えて都にまで侵入する^(g)という事態を招いた。加えて南部沿海地域では倭寇の侵犯が激しくなり、その討伐で頭角を現したのが朝鮮の建国者(ウ)であった。

朝鮮の前半期は明に朝貢し国内も比較的穏やかな状態が続いた。しかし16世紀後半、北方で満州族が興起し、南から日本の侵略を被った。満州族が後金を建て清に発展すると、朝鮮は明と後金・清との間で難しい立場に置かれ、17世紀前半に後金と清の侵略を受けてその藩属国となった。その後は清や日本とおおむね安定した関係を保ち、特色ある政治・社会状況^(h)がみられた。19世紀後半になると、宗主国として朝鮮との関係を維持しようとする清と、朝鮮に対する清の影響力を排除しようとする日本が対立した。こうした国際環境が朝鮮国内の政治・社会状況にも影響を及ぼすことになった。⁽ⁱ⁾結局、日清両国の対立は解消されず戦争に至るのである。

問 1 空欄(ア)に入る語句として最も適切なものを一つ選びなさい。

- A. 交趾郡 B. 帯方郡 C. 日南郡 D. 楽浪郡

問 2 下線部(a)に関連して、半島における国家形成の説明として最も適切なものを一つ選びなさい。

- A. 半島中部から高句麗が興った。
- B. 半島南部中央は加羅あるいは加耶と呼ばれ小国が分立した。
- C. 半島南西部の馬韓と呼ばれた地域から新羅が興った。
- D. 半島南東部の辰韓と呼ばれた地域から百済が興った。

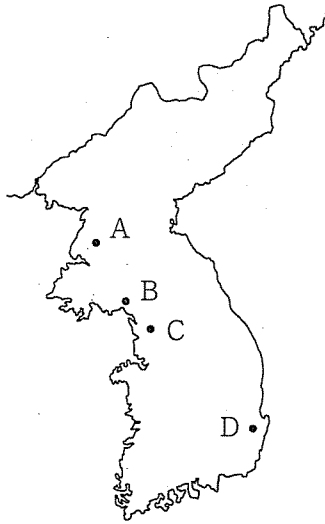
問 3 下線部(b)の説明として誤りを含むものを一つ選びなさい。

- A. 高句麗は隋の侵略軍を撃退した。
- B. 新羅は唐と連合して百済を滅ぼした。
- C. 新羅は単独で高句麗を滅ぼした。
- D. 百済復興を目指す日本は新羅・唐連合軍と白村江で戦った。

問 4 下線部(c)の説明として誤りを含むものを一つ選びなさい。

- A. 北宋に滅ぼされた。
- B. 主に高句麗の遺民と靺鞨族によって構成されていた。
- C. 長安に倣って都の上京竜泉府が建設された。
- D. 大祚榮によって建国された。

問 5 空欄(イ)に入る都市の場所を下記の地図から一つ選びなさい。



問 6 下線部(d)の説明として誤りを含むものを一つ選びなさい。

- A. 青花と呼ばれる白磁が生産された。
- B. モンゴル軍撃退を祈願して『大蔵経』が板刻された。
- C. 世界最初の金属活字が作られた。
- D. 仏教が国家の保護を受けて隆盛した。

問 7 下線部(e)の説明として誤りを含むものを一つ選びなさい。

- A. 支配下の多民族を部族制と州県制という異なる体制で統治した。
- B. 北宋と澶淵の盟を結んだ。
- C. 耶律大石によって建国された。
- D. 後晋の建国を援助した代償に燕雲十六州を獲得した。

問 8 下線部(f)に関連して、モンゴル・元のアジア各地に対する侵略の説明として最も適切なものを一つ選びなさい。

- A. 南詔を滅ぼした。
- B. マジャパヒト王国を滅ぼした。
- C. タウンゲー朝を滅ぼした。
- D. 陳朝に侵攻したが撃退された。

問 9 下線部(g)は何を指すか、最も適切なものを一つ選びなさい。

- A. 紅巾の乱
- B. 黄巢の乱
- C. 赤眉の乱
- D. 黄巾の乱

問10 空欄(㉞)に入る人名として最も適切なものを一つ選びなさい。

- A. 李元昊
- B. 李成桂
- C. 李世民
- D. 李自成

問11 下線部(h)の説明として誤りを含むものを一つ選びなさい。

- A. 徳川将軍の代替わりごとに通信使を派遣した。
- B. 明滅亡後、朝鮮が唯一の中国文化の継承者であるとする意識が形成された。
- C. 朱子学の学派と政治の派閥が結びついた権力闘争が激しくなった。
- D. 郷紳と呼ばれた支配階層が官僚の大部分を占めた。

問12 下線部(i)の説明として最も適切なものを一つ選びなさい。

- A. 大院君は清の勧告を受けて開国政策を推進した。
- B. キリスト教の教義を取り入れた東学が浸透した。
- C. 甲申政変後、日清両軍の撤退などを定めた天津条約が締結された。
- D. 全琫準ら急進改革派が日本に接近してクーデタを決行した。

〔Ⅱ〕 次の文章を読み、下記の問いに答えなさい。

十字軍運動の侵略的な性格から一般的に予想されるのとは異なり、中世のヨーロッパ世界内部では、キリスト教徒とムスリム(イスラーム教徒)が多様な関係を取り結んでいた。7世紀の勃興後、瞬く間に北アフリカを席卷したイスラーム勢力だが、^(a)8世紀初頭にはイベリア半島をも支配下に置くこととなる。その直後には早くもキリスト教徒によるレコンキスタが開始されるが、ムデハルと呼ばれる者たちのように、再征服後も、生命・財産・信仰を保証され、キリスト教諸王国に残留するムスリムたちもいた。こうした共存を背景として、12世紀の^(b)〔ア〕では、学術書のアラビア語からラテン語への翻訳活動が展開され、12世紀ルネサンスと呼ばれる文化復興運動が盛り上がりを見せることとなった。ク^(c)リュニー修道院院長ペトルス＝ウェネラピリスの主導のもと、^(d)イスラーム教の聖典である『クルアーン(コーラン)』のラテン語訳がはじめて試みられたのも、こうした知的環境のもとにおいてであった。その後も、キリスト教徒とムスリムの接触はある程度制限されていたものの、15世紀後半に至るまでムデハルたちに対する激しい迫害や強制的な改宗の試みはあまり見られなかった。しかし、1492年のグラナダ陥落によりレコンキスタが完了すると、^(e)カトリック両王と呼ばれたカスティーリヤ王国のイザベルとアラゴン王国の〔イ〕の影響で改宗政策が進められる。国内におけるカトリック化の進展と海外へのキリスト教世界の拡大^(f)が推進されるなか、1520年代までにはスペイン各地でムスリムの追放令が出されたのである。

地中海に浮かぶシチリア島もまた、キリスト教徒とムスリムが共存する場であった。10世紀にビザンツ帝国からこの島を奪い、^(g)支配していたムスリムたちの多くは、1130年に〔ウ〕人によってシチリア王国が成立すると、^(h)貢納・賦役と引き替えに信仰と生命の安全を保証され、キリスト教君主のもとに残留した。王国の中心地であるパレルモの宮廷では、多くのムスリムやギリシア人が役人として仕えた。しかし、12世紀後半以降、シチリア島のラテン化が進展すると、ムスリムは徐々に減少し、神聖ローマ皇帝を兼ねたシチリア王フリードリヒ⁽ⁱ⁾2世により、1223年から46年にかけて、イタリア半島南部のルチエーラに強制

的に移住させられた。しばらくの間ルチエラは農業や商工業で栄えたものの、大半のムスリムは1300年に奴隷として追放され、数ヶ月のうちに居住区は解体されてしまった。こうして、王国からムスリムの存在はほぼ消滅することとなった。

問 1 空欄(ア)に入る都市名として最も適切なものを一つ選びなさい。

- A. バルセロナ B. リスボン C. トレド D. セビリヤ

問 2 空欄(イ)に入る人名として最も適切なものを一つ選びなさい。

- A. フェリペ B. フェルナンド
C. カルロス D. エンリケ

問 3 空欄(ウ)に入る語句として最も適切なものを一つ選びなさい。

- A. ランゴバルド B. ヴァンダル
C. ノルマン D. ベルベル

問 4 下線部(a)に関連して、この時期に存在したアフリカの王国に関する説明として、最も適切なものを一つ選びなさい。

- A. ソンガイ王国がガオを都とした。
B. メロエ王国ではメロエ文字が使用された。
C. ガーナ王国がサハラ縦断交易で栄えた。
D. モノモタパ王国がインド洋交易で栄えた。

問 5 下線部(b)に関連して、カール大帝による対ムスリムのスペイン遠征を題材とした文学作品として最も適切なものを一つ選びなさい。

- A. ニーベルンゲンの歌 B. 千夜一夜物語
C. アーサー王物語 D. ローランの歌

問 6 下線部(c)に関連して、12世紀スペインに生まれた哲学者で、スコラ学
の発展に影響を与えた人物として最も適切なものを一つ選びなさい。

- A. イブン＝ルシュド B. イブン＝シーナー
C. イブン＝ハルドゥーン D. イブン＝サウード

問 7 下線部(d)の説明として最も適切なものを一つ選びなさい。

- A. アッシジで創設され、アジアへの布教を行った。
B. 南フランスで創設され、異端審問で中心的な役割を担った。
C. フランスのブルゴーニュ地方で設立され、教会改革運動の中心を担っ
た。
D. モンテ＝カシノで設立され、その戒律により後世の修道院に大きな影響
を与えた。

問 8 下線部(e)に関連して、15世紀前半にはすでにポルトガルにより攻略され
ていたアフリカの港市を一つ選びなさい。

- A. キルワ B. セウタ C. モンバサ D. マラケシュ

問 9 下線部(f)に関連して、16世紀前半にアメリカ大陸で生じた出来事の説明
として最も適切なものを一つ選びなさい。

- A. コルテスがリマを建設した。
B. ピサロがメキシコ総督となった。
C. コルテスがクスコを破壊した。
D. ピサロがインカ帝国を滅ぼした。

問10 下線部(g)に関連して、ビザンツ帝国の領土に関する説明として最も適切なものを一つ選びなさい。

- A. マケドニア朝が、ハンガリー王国を支配下に置いた。
- B. 11世紀に、ヘラクレイオス1世がブルガリア帝国を併合した。
- C. 12世紀に、セルビア王国がビザンツ帝国から独立した。
- D. ユスティニアヌス帝が、ブリテン島に至る旧ローマ帝国の領土を回復した。

問11 下線部(h)に関連して、19世紀の両シチリア王国の説明として最も適切なものを一つ選びなさい。

- A. 千人隊を率いるガリバルディにより占領された。
- B. 首相のカヴールが国内の近代化をはかった。
- C. プロンビエール密約によりフランスへ割譲された。
- D. トリエステが自由港として発展した。

問12 下線部(i)が生きた時代に生じた地中海世界の出来事として最も適切なものを一つ選びなさい。

- A. サラディンがアイユーブ朝を建てた。
- B. フランス王ルイ9世がチュニスで病死した。
- C. モンゴル軍がアッバース朝を滅亡させた。
- D. コンスタンティノープルではラテン帝国が成立した。

〔Ⅲ〕 次の文章を読み、下記の問いに答えなさい。

東南アジアの歴史は、インドや中国との海上交流を中心に説明されることが多い。1世紀にメコン川沿いに建国された扶南の地では、インドの神像やローマ貨幣などが発見され、6世紀にその地を統治したカンボジアでも、ヒンドゥー教の影響を受けた文化が展開した。また、11世紀にイラワディ川流域に成立したパガン朝では、ドヴァーラヴァティーを建てた 人の信仰に影響を受け、上座部仏教が流行した。これらの状況は、インドからの影響の大きさを物語って ^(a) いる。

一方、唐が繁栄すると、東南アジア諸国が中国へ朝貢貿易に出向くようになるとともに、西アジア出身のムスリム商人が中国に居留し交易に従事した。しかし、唐末の農民反乱によって ^(b) 広州が大きな被害を受けたため、ムスリム商人の多くは中国を去った。そのような状況は、^(c) 中国の商人が東南アジアに向かう一因となった。

その後、イスラームの流入とモンゴルの海上進出が、東南アジア国家の再編に大きな役割を果たすこととなる。イスラームが東南アジアに広がる足がかりとなったのは、交通の要衝に位置したマラッカであった。古来続くムスリム商人の活躍とともに、イスラーム神秘主義者ともよばれる の教団活動も、島しょ部のイスラーム化を促した。また、モンゴルはそれまでに発達してきた海上交易を ^(d) さらに盛んにしようと貿易の保護に努めたため、東南アジアの港市はますます発展した。

16世紀以降、ヨーロッパ勢力が東南アジアへ進出するようになると、イスラーム商人の活動の拠点はマラッカからアチェ・マタラムなどへ移った。のちに、マタラム王国が成立したジャワ島は、東南アジアイスラーム社会の一大中心となっていた。マニラに本拠地を置いたスペインは、^(e) メキシコからフィリピンへの太平洋航路を開いた。ラテンアメリカでの銀山開発の結果、^(f) メキシコ銀がアジアに流れ込むこととなる。オランダが東南アジア貿易の主役となって以降も、^(g) スペインが保持したマニラは、中国やラテンアメリカとの中継拠点となっていた。

一方、大陸部では沿海都市における交易と並び、内陸での農業も王朝の基盤と

なっていた。インド・ヨーロッパからの技術移転や華僑^(h)の移住を背景として、段階的に農業生産が増していき、それが特産物交易の進展につながった。17世紀、清の支配領域の拡大にともない、大陸部諸国の多くがその朝貢国となる中で、ベトナムはキリスト教の布教を巡ってフランスの軍事介入を受け、やがてその保護国⁽ⁱ⁾となった。他方、タイ^(j)は清の朝貢国で唯一、植民地化を回避した。

問 1 空欄(a), (イ)に入る最も適切な語句を答えなさい。

問 2 下線部(a)について、誤りを含む記述を一つ選びなさい。

- A. スリランカから東南アジアに伝わった。
- B. 竜樹(ナーガールジュナ)によって理論化された。
- C. 大乘仏教側から小乗仏教と呼ばれた。
- D. 戒律の遵守を重視した。

問 3 下線部(b)に関連して、唐代に南海交易の窓口の一つとなり、カンツーと呼ばれた都市はどこか。

問 4 下線部(c)について、最も適切な記述を一つ選びなさい。

- A. 隋代に初めて市舶司が設置された。
- B. 明代にポルトガル人の永住が許された。
- C. 康熙帝によりヨーロッパ船の来港がこの港に限定された。
- D. 孫文の死後、国民政府が置かれた。

問 5 下線部(d)に関連して、マムルーク朝の保護を受けてこの交易で活躍したムスリム商人を何というか。

問 6 下線部(e)に関連して、インドネシアでは、イスラームの信仰や教育が反植民地主義的国民意識を高めた。20世紀初頭にインドネシアの民族運動を進めた団体を一つあげなさい。

問 7 下線部(f)について、(1)その航路で用いられた大型帆船を何というか。また、(2)ラテンアメリカ側の主な港はどこか。

問 8 下線部(g)に関連して、海域アジアにおいてオランダが関わった出来事を古い順に並べなさい。

- A. 台湾統治の開始
- B. コーヒーの強制栽培制度の導入
- C. マタラム王国の消滅
- D. 東インド会社の設立

問 9 下線部(h)に関連して、東南アジアにおける華僑(華人)の説明として誤りを含むものを一つ選びなさい。

- A. アヘン戦争後、苦力(クーリー)と呼ばれる男性労働者が増加した。
- B. シンガポールは、華僑を中心にマレーシアから分離独立した。
- C. 華北・東北からの移民が大半を占めた。
- D. 清末の革命運動を支援するものが多かった。

問10 下線部(i)について、フランス軍への抵抗戦争で活躍した中国人部隊は何と呼ばれるか。

問11 下線部(j)に関連して、18世紀末に創始された現代につながるタイの王朝は何か。

〔IV〕 次の文章を読み、下記の問いに答えなさい。

第二次世界大戦終了後、国際情勢は米ソ対立を軸とした冷戦体制の下で、地域により様々な様相を呈した。1947年3月、イギリスの要請を受けたアメリカ合衆国のトルーマン大統領は、に軍事・経済援助を与えてソ連の勢力拡大を封じ込める政策を発表した。さらに、1949年4月には、西側諸国はアメリカ合衆国も含めて北大西洋条約機構を結成し、共産主義勢力の武力侵攻に備えた。一方、ソ連と東欧諸国はこれに対抗し条約機構を樹立した。

連合国に分割占領されていたドイツでは、1949年に西ドイツ(ドイツ連邦共和国)と東ドイツ(ドイツ民主共和国)が成立した。西ドイツでは、1954年にアデナウアー首相の指導下、を締結して主権を回復した。

フランスは、1954年にを締結してインドシナから撤退したが、アルジェリア独立運動が激化し、1958年に政権が交代した。翌年成立したドゴール政権は、西側諸国の一員として英米との協調路線を進むよりも、「フランスの栄光」を掲げて独自の外交を展開した。

共産圏ではソ連のフルシチョフ第一書記は、1956年に西側諸国との平和共存路線を提唱し、コミンフォルムを解散した。しかし、民主化を求めたハンガリーに武力介入し、さらにベルリン市内には東西境界線を仕切る壁を築いた。その後、1968年には、は、自由化を推進していたへの軍事介入を指示した。

冷戦下のラテンアメリカ諸国は、アメリカ合衆国の強い影響下に置かれていた。1951年に成立した左翼政権の下、土地改革に着手したでは、合衆国に支援された軍部がクーデタを起こした。キューバでは、親米的な独裁政権を打倒したカストロは、まもなくソ連寄りの姿勢を明確にした。これに対し、ケネディ政権はその他の中南米諸国とを結成し、各国の改革を支援してアメリカ合衆国の影響力を保持しようとした。

一方、上述のような東西対立に巻き込まれることを回避する動きが第三世界の間で起きていた。1955年には29カ国が参加した会議で、平和共存や反植民地主義を唱道した平和十原則を採択した。また、エジプトではナセル大統領

領が積極的に中立政策を追求しながら、国内の近代化を目指した。その後、ナセルは中東地域で台頭するアラブ民族主義の指導的立場にたつことになった。

問 1 空欄(ア)～(ケ)に入る最も適切な語句を書きなさい。

問 2 空欄①に入る最も適切な国家の組み合わせを一つ選びなさい。

- A. ユーゴスラヴィアとアルバニア B. ギリシアとイタリア
C. トルコとユーゴスラヴィア D. ギリシアとトルコ

問 3 下線部(a)について誤りを含むものを一つ選びなさい。

- A. フランスはサハラ砂漠で核実験に成功し、米ソ英について核保有国となった。
B. フランスは部分的核実験禁止条約に参加しなかった。
C. フランスは1963年に北大西洋条約機構から脱退した。
D. フランスは1949年に成立した中華人民共和国を1964年に承認した。

問 4 下線部(b)の説明として誤りを含むものを一つ選びなさい。

- A. この時にキューバ危機が勃発した。
B. この時に核拡散防止条約に加盟した。
C. キング牧師に指導された公民権運動を支援した。
D. 国内ではニューフロンティア政策を推進した。

問 5 下線部(c)が行ったこととして誤りを含むものを一つ選びなさい。

- A. モサデグらと王政を倒すエジプト革命に成功した。
B. 1956年、スエズ運河の国有化を宣言した。
C. アスワン＝ハイダム建設を推進した。
D. テイトーらと非同盟諸国首脳会議を主導した。



